

1. 予算編成の考え方

- ツキノワグマによる人身被害防止のため、緊急銃猟を実施する市町村の支援に必要な予算を計上
- 応急ポンプの調達・運転などの濁水・高温対策を講じた土地改良区等の支援に必要な予算を計上
- 施設・設備の老朽化が進む「中山の園」について、整備基本計画に基づく調査に必要な予算を計上
- 前年度決算の確定に伴う所要の予算を計上 等

2. 予算の規模等

今回補正額：▲14億円(通常分:▲15億円、震災分:1億円)

[一般会計]

(単位:百万円)

区 分		予算額	財 源 内 訳			
			国 庫	県 債	その他	一 般
令和7年度	現計予算額	741,007	97,030	47,892	126,320	469,765
	補正予算額	▲ 1,374	▲ 1,259	▲ 1,063	71	877
	補正後現計予算額(A)	739,633	95,771	46,829	126,392	470,642
令和6年度9月現計予算額(B)		735,931	89,379	43,081	138,925	464,546
比較	増減額(A) - (B)	3,702				
	増減率(%)	0.5				

令和7年度 一般会計第3号補正予算案（9月定例会提案分）における主な事業

1.通常分〔補正予算額：▲1,498百万円〕

〔新〕は新規事業

- 1 管理運営費(国際交流推進費) 2百万円【補正後現計9百万円】〔ふるさと振興部〕
駐日インド大使館との共催イベントにおける県産品や観光・伝統芸能等の対印プロモーションに要する経費
- 2 指定管理鳥獣対策事業費補助 5百万円【補正後現計61百万円】〔環境生活部〕
市町村に対して、ツキノワグマの人身被害防止(人の日常生活圏における緊急銃猟)に要する経費を補助
- 3 中山の園整備事業費 17百万円【補正後現計17百万円】〔保健福祉部〕
「中山の園」を整備するため、現施設の改修に必要となる耐震診断の実施に要する経費
※併せて、基本設計・実施設計等に係る債務負担行為(限度額327百万円、期間:R7~8)を設定
- 4 医療機関生産性向上・職場環境整備等事業費補助 506百万円【補正後現計751百万円】〔保健福祉部〕
医療機関(ベースアップ評価料算定機関に限る)に対して、ICT機器の導入による業務効率化等に要する経費を補助
- 5 病床適正化緊急支援事業費補助 378百万円【補正後現計964百万円】〔保健福祉部〕
病床数の適正化を進める医療機関に対して、診療体制の変更等に要する経費を補助
- [新]6 水利施設管理強化事業費(湧水・高温対策) 30百万円〔農林水産部〕
市町村に対して、土地改良区等が講じた湧水・高温対策に必要となる応急ポンプの設置等に要する経費を補助
- 7 教職員人事管理費(再発防止岩手モデル推進事業) 3百万円【補正後現計4百万円】〔教育委員会〕
盛岡第一高等学校の不適切指導事案に係る第三者による調査検証に要する経費
- 8 委員会運営費(教育委員会経常経費) 9百万円【補正後現計42百万円】〔教育委員会〕
盛岡農業高等学校における部活動中の事故に係る損害賠償に要する経費

(通常分のうち公共事業費補正予算額：▲3,554百万円)

- [新] 1 森林整備事業費補助 78百万円【補正後現計607百万円】〔農林水産部〕**
国庫内示状況を踏まえた増額
- [新] 2 林道整備事業費 ▲60百万円【補正後現計1,660百万円】〔農林水産部〕**
国庫内示状況を踏まえた減額
- [新] 3 水産物供給基盤機能保全事業費 130百万円【補正後現計464百万円】〔農林水産部〕**
国庫内示状況を踏まえた増額
- 4 道路環境改善事業費 ▲134百万円【補正後現計13,000百万円】〔県土整備部〕**
国庫内示状況を踏まえた減額
- 5 地域連携道路整備事業費 ▲1,468百万円【補正後現計4,727百万円】〔県土整備部〕**
国庫内示状況を踏まえた減額
- [新] 6 基幹河川改修事業費 ▲1,362百万円【補正後現計1,822百万円】〔県土整備部〕**
国庫内示状況を踏まえた減額
- 7 都市計画道路整備事業費 ▲168百万円【補正後現計974百万円】〔県土整備部〕**
国庫内示状況を踏まえた減額

2.震災分〔補正予算額：124百万円〕

- 1 いわたの学び希望基金積立金 90百万円〔復興防災部〕**
いわたの学び希望基金への積立金